



真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。
活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

最近の活動報告

月の活動【寺田隊】

日時 2013年9月25日(水)～28日(土)

内容 岩手県陸前高田市の正徳寺での親鸞教室の参加、炊き出し、懇親会。
津波で家が流された敷地の草取り。

→詳細は11号で報告する予定。

10月の活動①【北條隊】

日時 2013年10月4日(金)～7日(月)

内容 ①福島原発告訴団団長の武藤類子さんから、福島の現状を聞く。
②福島朝鮮初中級学校の小中学生と遊び、交流する。
③福島県の仮設住宅(雀塚仮設、がんご屋仮設、新林仮設)での交流・炊き出し。



『福島朝鮮初中級学校』の校長・金政洙先生

この学校では、被曝の危険から児童を守るために、新潟の朝鮮学校へ集団疎開を5月から12月まで行いました。グラウンドの表土は、除染のため削り取りましたが、今なおグラウンドの片隅にブルーシートをかぶせたままの状態です。

「東北・福島に住んでいる以上、私たちも日本人も、同じ苦しみを抱えているんです。そこに民族の違いはありません」

朝鮮の同胞から届けられた物資を、他の仮設住宅へ寄付したり、また心の負担が軽くなるようにと日本人に焼き肉を提供されたり、ともに今を生き抜こうとされておられる熱い先生でした。





福島原発告訴団団長・ハイロアクション

武藤類子 さんから

福島の いま

を、うかがってきました。

今、福島では・・・

- ・8000ベクレルを超える放射能汚染ゴミ（落ち葉など）を、福島県内で焼却してしまおうという動きがあります。ところが・・・実験焼却炉が作られ、運転しはじめた9日目に爆発。焼却すれば、フィルターをすり抜けて放射能が飛び散る可能性もありますし、非常に高い濃度の灰が作られる、焼却炉じたいが危険な建物になってしまいます。
- ・二度と原発事故を起こさないために東電などの責任をはっきりとさせる必要があります。このことを目的に、1万4716人ももの全国の人たちと行った告訴が、不起訴になってしまいました。私たちは告訴を福島地検に出していましたが、オリンピックの開催地が東京に決定した翌々日、東京地検へ移送され、なんとその一時間後に不起訴になってしまいました。一般的には、他の地検へ移送されることはほとんどありません。しかもオリンピックが東京に決定した直後ということに、非常に意図的なものを感じます。
- ・今、福島の人々は、分断されてきています。つながりを失いかけています。補助金の対象に入るか入らないか、という分断。農業や漁業を復活しようとする人と、食の安全に不安を感じる人。「子ども被災者支援法」の基本方針も地域によって分けさせられ、さらに分断が進められていきます。
- ・福島第一原発では3000人の労働者が働いています。もともと多重の下請け構造があって、以前は5次6次請けまでだったのが、今は8次9次請けにまでなって賃金が搾取され、非常に低い賃金で働いています。「除染の方が高いから除染作業に移ろう」という人が多くなって、3000人の労働者を確保することが困難になっています。暴力団が飯場のようなところから人を集めてきて、行き先もわからないのに連れてこられています。

メディアでは伝えていない福島があります。

どうか福島を忘れないでください。どうか真実を見る眼を閉じないでください。

今後の活動 (みなさまからの支援で活動させていただいています)

10月の活動【野呂隊】

日時 2013年10月21日(月)～22日(火)

活動内容 愛西市安泉寺の門徒さんや縁ある方々は、これまで定期的に東北へ野菜などを送っていました。今回はその送り先である、福島県二本松市の同朋幼稚園、宮城県女川町尾浦仮設へ行ってきました。

10～12月の活動予定【「いのちの呼びかけカレンダー2014」】

活動内容 東北へ思いを馳せて、届けたい法語などの言葉を日めくりカレンダーとして東北へ送ります。カレンダーを一冊購入して頂くと、一冊が東北の誰かのお宅に届けられるという仕組みになっています。皆さまもご協力をお願いいたします。

今後とも、ご協力をお願いいたします。